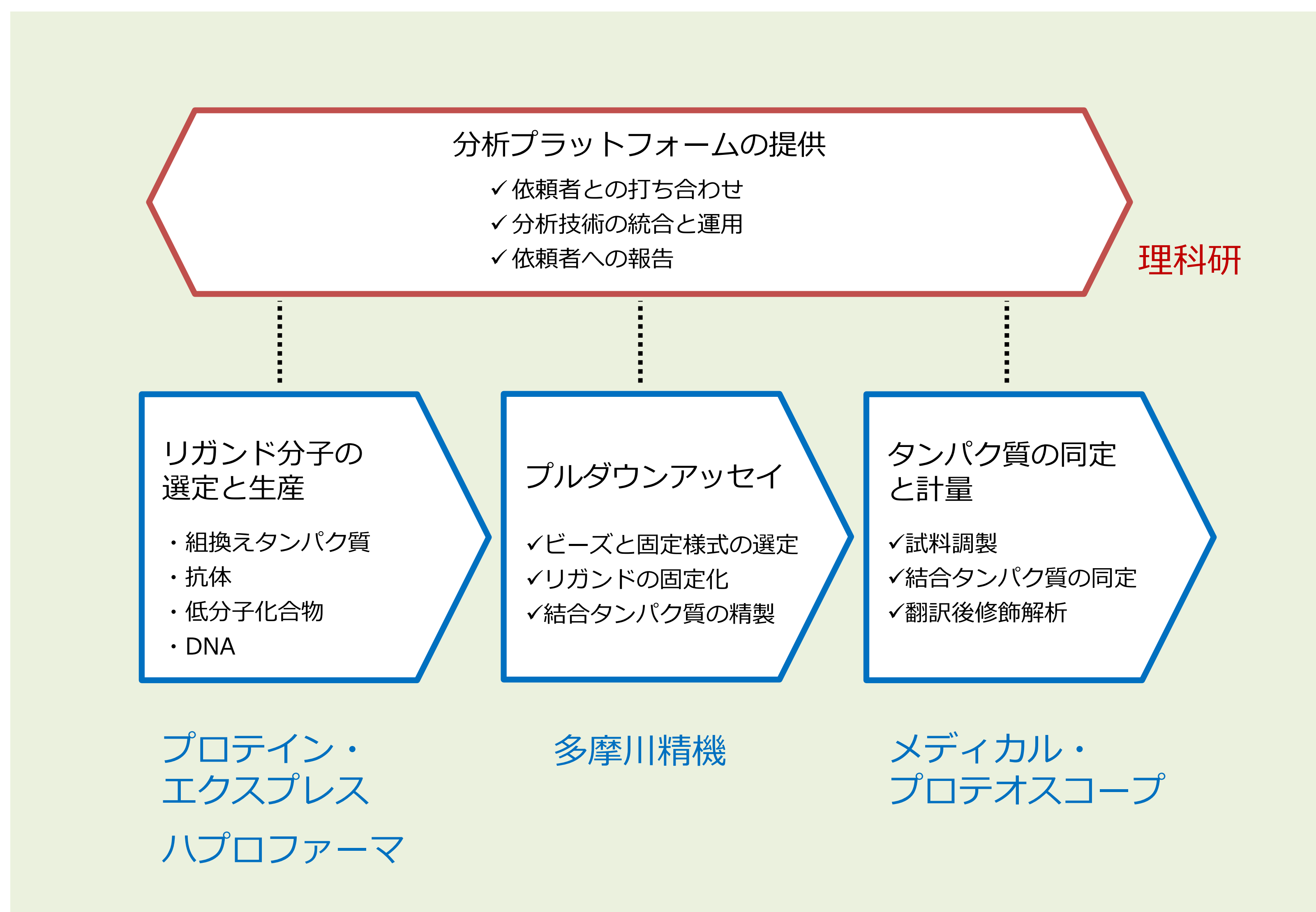


受託分析企業間の連携

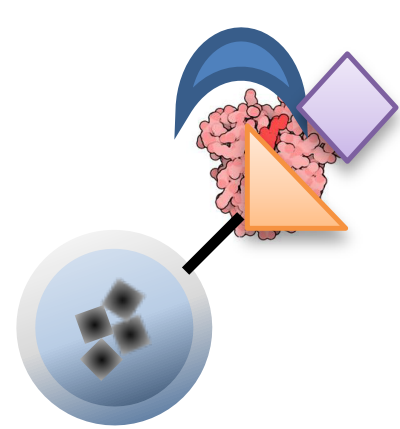
依頼者の研究計画全体を視野に入れて分析手順を立案

プロテオミクスの実施に必要な基盤技術やデータベース情報を有するバイオテクノロジー企業との連携を進めており、依頼者からの多様なニーズにも柔軟に対応しています。

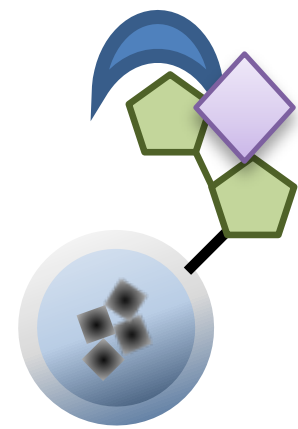


企業連携の一例：アフィニティビーズを用いた相互作用分子の同定

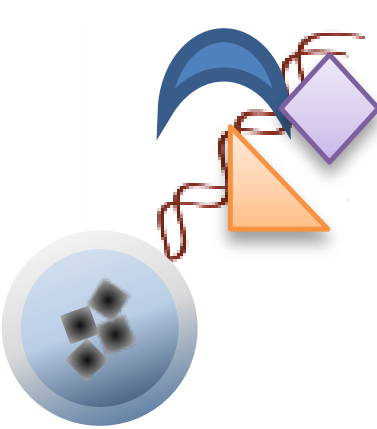
分子同定に至る各工程をそれぞれ得意な要素技術をもつ企業が分担しながら実施し、企業単独では難しかった総合的かつ高度な分析受託を実現しています。この連携では、窓口機関である理科研株式会社が依頼者からの要望や相談を一括して受け付け、要素技術の全部あるいは一部を組み合わせる分析手法を提案します。依頼者は各社技術とその整合性を取りながら利用することができます。



タンパク質-タンパク質



化合物-タンパク質



DNA-タンパク質

さまざまなリガンドを固定化

実験系の工夫次第で目的のタンパク質群を一斉に回収・同定することができます。

